

ビルマの豎琴

合唱による和解

「ビルマの豎琴」は長らく鎌倉に住んだ竹山道雄の作品です。戦後まもなく川端康成、大佛次郎などが編集に参画した児童雑誌「赤とんぼ」に連載されました。鎌倉の作家たちの力が結集して誕生した作品とも言えます。作品は終戦前後のビルマ（現在のミャンマー）を舞台に「音楽は国境、敵味方を越えて、人と人をつなぎ、和解に導く」ことを描いています。戦争を知らない若い人たちへ平和の願いを込めて、この朗読を聞いてもらいたいと願っています。



出演

朗読・歌 田中あつ子

東京音楽大学声楽科卒業。NHK教育テレビ「ふえはうたう」でうたのおねえさんとしてデビュー。富田勲プロデュース：「ヘンゼルとグレーテル」に主演。

歌 高野久美子

東京芸術大学声楽科卒業。東京オペラプロデュース「蝶々夫人」のタイトルロールでオペラデビュー。2001年、チェコ国立歌劇場で「蝶々夫人」を演じ好評を博す。

歌 鈴木花安

東京藝術大学卒業、大学院音楽研究科声楽専攻独唱科修了。母校清泉女学院中高音楽科非常勤講師。2021年、舌ガンに罹患するが見事に舞台へ復帰。

ピアノ 倉本洋子

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。「3つのピアノ・コンチェルトのタベ」で東京交響楽団と協演。自ら朗読、ピアノソロの活動も。

合唱 鎌倉学園・鎌倉女学院・逗子開成学園 ほか

脚本・演出 伊藤玄二郎

鎌倉ユネスコ協会理事、エッセイスト。関東学院大学教授、早稲田大学客員教授などを務めた。著書に『風のかたみ』『末座の幸福』など。

公演日時 2025年11月24日(月・祝)

開演 14:00 (開場:13:00)

会場 カトリック雪ノ下教会 鎌倉市小町2-14-4 (駐車スペースはありません)

入場料 2,000円 小・中学生・高校生 1,000円 (全席自由)

共催 鎌倉ユネスコ協会 かまくら春秋社

後援(予定) 鎌倉市 鎌倉市教育委員会 鎌倉ロータリークラブ 鎌倉中央ロータリークラブ

協力 カトリック雪ノ下教会 人間社

お問合せ事務局 鎌倉ユネスコ協会 info@kamakura-unesco.com

人間社 TEL 0467-24-7223 (平日9:00~18:00)